



NEW AIR, ON AIR.



tv asahi

第70期 中間報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成21年9月30日

ごあいさつ



皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第70期の中間報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に、心から御礼申し上げます。

当中間期の日本経済は引き続き厳しい状況にあり、テレビ広告市場におきましても前年同期を下回る水準で推移いたしました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努める一方で、営業費用についても徹底したコストコントロールを行ってまいりましたが、減収減益となりました。

昨年来のテレビ広告市場の落ち込みの大きさを考えると、現在当社が直面しているのは、景気循環による一時的な市況の悪化だけではなく、テレビ広告市場に構造的な変化が起こっていると判断せざるを得ません。

当社では、この構造変化に対応し、デジタル時代の新しいテレビ朝日グループを作り上げるために、来期末までの2年間で「改革断行期間」と位置付けました。

現在、全社一丸となって改革に取り組んでおります。

改革の第一弾としてこの6月には、コンテンツビジネス局を新設いたしました。

地上波で放送された番組からBS放送、CS放送、DVD、携帯電話、パソコン、映画、出版、ゲームなど多様な出口へのマルチ展開を推進し、収益機会を最大化することが新局のミッションとなります。

着実に実績を積み重ねてきた“コンテンツ力”を武器に積極的にコンテンツビジネスを展開してまいります。

また、徹底的に無駄を省き、利益体質の強化を図ります。当中間期においても、これまで以上の番組制作費の効率運用を徹底したほか、経費についても大幅な削減を行いました。

全社的なコスト意識も高まりつつあります。

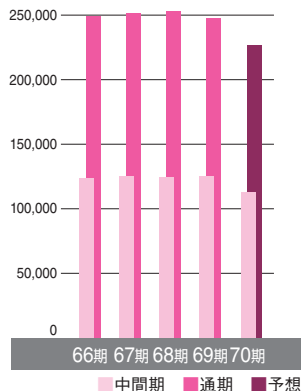
今後もお客様に愛されるコンテンツを数多く生み出し、業績向上による株主価値の増大を目指して努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

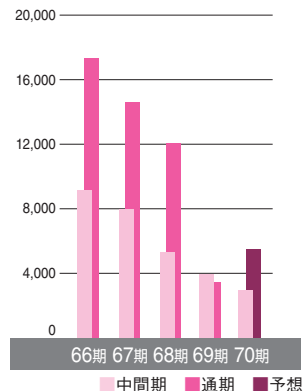
売上高

(単位: 百万円)



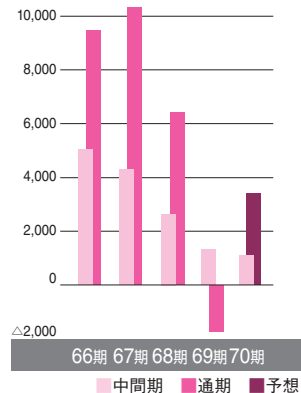
経常利益

(単位: 百万円)



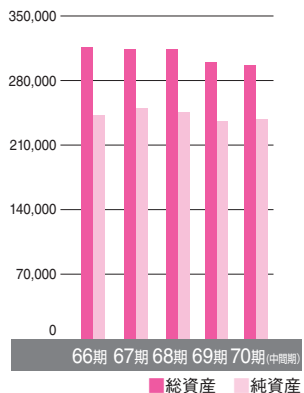
中間(当期)純利益

(単位: 百万円)

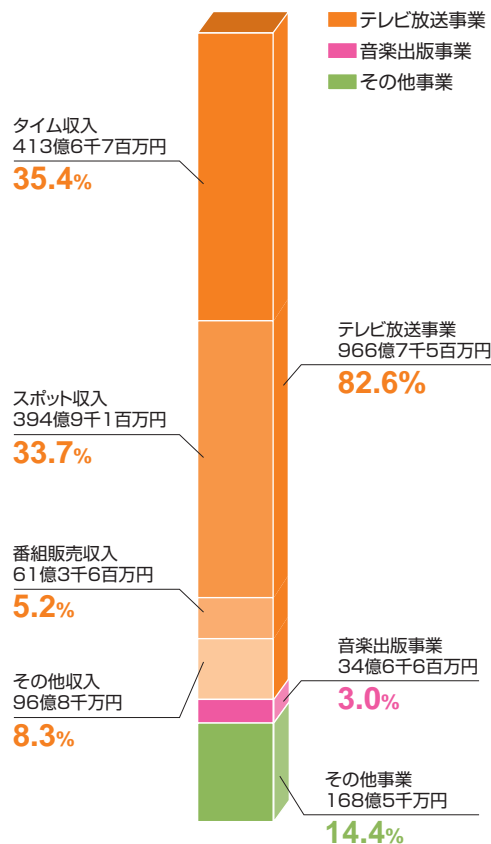


総資産/純資産

(単位: 百万円)



事業別売上構成比



テレビ放送事業

(単位：百万円)

	69期 中間期	70期 中間期	前年同期比	
売上高	107,874	96,675	△ 11,198	△ 10.4%
タイム収入	48,041	41,367	△ 6,673	△ 13.9%
スポット収入	44,040	39,491	△ 4,548	△ 10.3%
番組販売収入	6,170	6,136	△ 34	△ 0.6%
その他収入	9,622	9,680	58	0.6%
営業利益	301	△ 124	△ 426	—

【タイム収入】 スポンサーの固定費削減傾向が拡大したため、4月改編セールスで苦戦を強いられ、レギュラー番組のセールスが大幅な減収となりました。単発番組では、「世界水泳ローマ2009」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2009」、「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」3試合、ドラマスペシャル「刑事一代」などがありました。前年同期の「北京オリンピック2008」の反動減などにより、タイム収入合計は減収となりました。

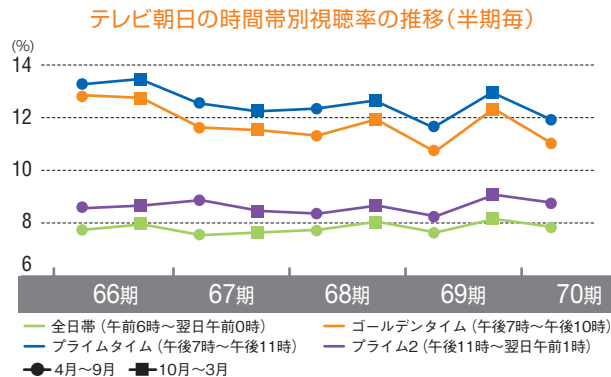
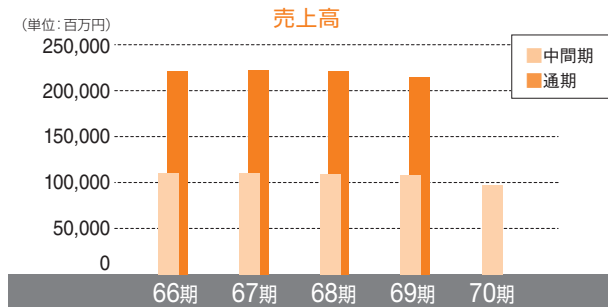
【スポット収入】 業種別で、「卸売」「薬品」は好調に推移したものの、「サービス・娯楽」「電気機器」「輸送機器」

をはじめとするほとんどの業種が低迷したため、減収となりました。

編成コンセプトと成果

平成21年4月編成では、平日の夜7時台を中心に強化するほか、土・日の夜7～8時台を大きく改編いたしました。

その結果、視聴率は、全日帯（午前6時～翌日午前0時）7.8%、プライムタイム（午後7時～午後11時）11.8%、ゴールデンタイム（午後7時～午後10時）10.9%、プライム2（午後11時～翌日午前1時）8.7%といずれの時間帯も前年同期を超える視聴率をマークいたしました。



※ 視聴率データは、いずれもビデオリサーチ調べ

バラエティーでは、「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」(月曜夜8時)、「ナニコレ珍百景」(水曜夜7時)、「いきなり!黄金伝説。」(木曜夜7時)などが高い水準の視聴率を記録しました。また、夜11時台のネオバラ枠の各番組も若い世代を中心に引き続き高い評価をいただいております。

ドラマでは、ドラマスペシャル「刑事一代」が高視聴率を獲得したほか、「臨場」「新・警視庁捜査一課9係」「科捜研の女」などのシリーズも好調でした。

スポーツでは、「世界フィギュアスケート国別対抗戦2009」「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」「世界水泳ローマ2009」など日本中の注目を集めた熱戦を放送。「スポーツのテレ朝」として視聴者の皆様から引き続き高い支持をいただいております。

報道情報番組では、「報道ステーション」が安定した視聴率を維持しているほか、各ベルト番組も視聴者の皆様の求める情報を的確に捉えた報道で、引き続き厚い信頼を得ております。



「ナニコレ珍百景」



「科捜研の女」



「世界水泳ローマ2009」



「選挙ステーション2009」

音楽出版事業

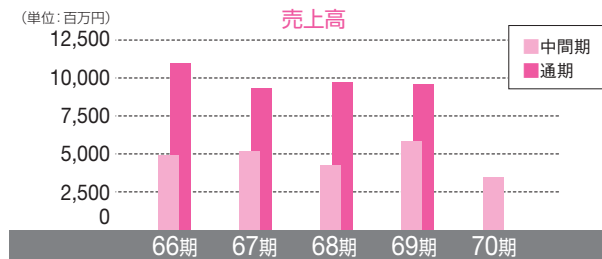
(株)テレビ朝日ミュージックの専属アーティストが引き続き活躍しております。“湘南乃風”は4月にアルバム「JOKER」をリリースし、その後のコンサートツアーも好調に推移しました。しかしながら、前年同期に“ケツメイシ”“HY”のアルバムやコンサートツアーがあったことなどから、減収となりました。



湘南乃風

(単位:百万円)

	69期 中間期	70期 中間期	前年同期比	
売上高	5,859	3,466	△ 2,392	△ 40.8%
営業利益	1,125	403	△ 722	△ 64.1%



その他事業

(単位：百万円)

	69期 中間期	70期 中間期	前年同期比	
売上高	16,151	16,850	699	4.3%
営業利益	1,385	1,529	143	10.3%

■ 出資映画事業

「レッドクリフ PART2」が前作に引き続き大ヒットとなったほか、夏休み恒例の「仮面ライダーディケイド・侍戦隊シンケンジャー」がシリーズ歴代1位となる興行収入を達成いたしました。

■ イベント事業

記録的な入場者数となった「国宝 阿修羅展」のほか、明治座公演「黒革の手帖」や定番となった夏の音楽イベント「SUMMER SONIC 09」「FUJI ROCK FESTIVAL'09」など数々のイベントを開催し、多くの観客を動員いたしました。

■ ビデオ・DVD化事業

バラエティー番組「アメトーーク」のDVDが好調な売上を記録。そのほか、バラエティーでは「さまぁ〜ず×さまぁ〜ず」「くりいむナントカ」、レギュラードラマでは「歌のおにいさん」「特命係長 只野仁」などの番組をDVD化いたしました。

■ ショッピング事業

「セレクションX」や「ちい散歩」内の通信販売コーナーを



「劇場版 仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー」
「侍戦隊シンケンジャー 銀幕版 天下分け目の戦」



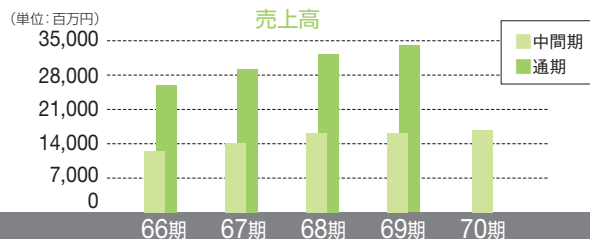
「国宝 阿修羅展」



DVD 「アメトーーク」



「ちい散歩」



中心としたテレビショッピングが好調に推移いたしました。インターネットによる販売も積極的に取り組んでおります。

■ インターネット事業

携帯電話向け会員制有料情報サービスの「テレ朝コンプリート!」や「テレ朝サウンド」などが順調な業績を上げております。また、KDDI、朝日新聞社との提携によるauの携帯電話に向けた情報配信サービス「EZニュースEX」を6月にスタートいたしました。同月には動画配信サイトをリニューアルし「テレ朝動画」を開局するなど、クロスメディア展開も拡大しております。

■ CS事業

CS放送「テレ朝チャンネル」は、平成21年9月末時点で271万世帯を超えました。過去に地上波で放送した人気番組に加え、テレ朝チャンネル「オリジナル」の番組が視聴者の皆様の支持を得ております。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在	平成21年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	130,739	142,639	132,500
固定資産	166,148	168,671	167,810
有形固定資産	67,565	58,161	69,544
無形固定資産	5,378	5,309	5,634
投資その他の資産	93,204	105,200	92,631
資産合計	296,888	311,311	300,311
(負債の部)			
流動負債	43,960	52,783	49,490
固定負債	15,137	15,160	14,669
負債合計	59,098	67,944	64,160
(純資産の部)			
株主資本	233,477	238,432	234,393
資本金	36,642	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342	55,342
利益剰余金	141,812	146,768	142,729
自己株式	△ 321	△ 321	△ 321
評価・換算差額等	△ 697	1,075	△ 2,460
その他有価証券評価差額金	△ 568	1,156	△ 2,293
繰延ヘッジ損益	△ 13	△ 21	△ 23
為替換算調整勘定	△ 115	△ 59	△ 143
少数株主持分	5,010	3,857	4,217
純資産合計	237,790	243,366	236,150
負債純資産合計	296,888	311,311	300,311

四半期連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高	112,537	125,140	247,192
売上原価	85,572	93,960	188,343
売上総利益	26,964	31,179	58,849
販売費及び一般管理費	25,175	28,409	56,834
営業利益	1,788	2,770	2,015
営業外収益	1,258	1,272	1,954
営業外費用	111	121	524
経常利益	2,935	3,921	3,444
特別損失	-	1,166	2,858
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,935	2,755	586
法人税等	1,367	1,213	1,717
少数株主利益	472	225	584
四半期純利益又は(当期)純損失(△)	1,095	1,316	△ 1,716

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,057	11,449	16,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,852	△ 25,609	△ 30,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,076	△ 2,023	△ 3,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△ 60	△ 156
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	5,148	△ 16,243	△ 17,008
現金及び現金同等物の期首残高	44,343	61,351	61,351
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	49,491	45,108	44,343

会社の概要

商号	株式会社 テレビ朝日 TV Asahi Corporation
設立	昭和32年11月1日
放送開始	昭和34年2月1日
資本金	366億4,280万円
本店所在地	〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
従業員数	1,242名
当社の事業所等	本社（東京都） / アーク放送センター（東京都） 送信所・中継局（東京都ほか） / BS(コロンブス)（東京都）

役員

代表取締役会長	君和田正夫	取締役	上松 道夫
代表取締役社長	早河 洋	取締役	北澤 晴樹
専務取締役	風間 建治	取締役	秋山 耿太郎
常務取締役	神山 郁雄	取締役	岡田 剛
常務取締役	高田 弘明	取締役	北島 義俊
常務取締役	高野 正司	取締役	権藤 満
取締役	堀越むつ子	取締役	堀 鐵藏
取締役	大塚 隆廣	取締役	渡辺 克信
取締役	渡辺興二郎		

常勤監査役	有倉 幸生	監査役	小林 孝一
常勤監査役	浅野 正夫	監査役	野間佐和子
監査役	荻谷 忠男		

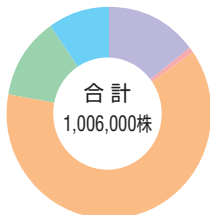
- (注) 1. 取締役秋山耿太郎、岡田 剛、北島義俊、権藤 満および渡辺克信の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役荻谷忠男、小林孝一および野間佐和子の各氏は、社外監査役であります。

株式状況

発行可能株式総数	大株主		
3,000,000株			
発行済株式の総数	株主名	持株数(株)	出資比率(%)
1,006,000株	株式会社朝日新聞社	248,649	24.72
株主数	東映株式会社	161,842	16.09
34,310名			

所有者別株式分布状況

■ 政府・地方公共団体	2株 (0.00%)
■ 金融機関	147,785株 (14.69%)
■ 金融商品取引業者	6,788株 (0.67%)
■ その他の法人	627,986株 (62.43%)
■ 外国法人等	126,819株 (12.61%)
■ 個人・その他	96,620株 (9.60%)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 (郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といたします。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<<http://company.tv-asahi.co.jp/>>
ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載の制限 放送法第52条の8に関連して、当社の定款には次の規定があります。
定款第8条

- 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。
1. 日本の国籍を有しない人
 2. 外国政府またはその代表者
 3. 外国の法人または団体
 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体
- ② 本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。